

令和2年度決算にかかる
外部評価結果報告書

亀山市行政評価外部評価委員会

令和2年度執行の事務事業に関する外部評価結果

【亀山市の行政評価システムについて】

亀山市では、平成19年度に始まった第1次総合計画の策定を契機に行政評価システムを導入し、第1次総合計画後期基本計画や第2次総合計画前期基本計画の策定時において、総合計画の効率的かつ効果的な推進を図るため、それまでの取組成果や課題等を検証され、評価システムの見直しが行われています。

外部評価については、評価内容の客観性や妥当性の向上を図るため、これまで継続して実施しており、市において、行政評価の制度定着が図られる中で、今回も前期基本計画の施策推進に向けた意識を強めるため、同一の基本施策に位置付けられた事業を事業群として捉え、22の事業を6つの事業群に分類し、評価内容の具体性等の視点も含め、評価を行いました。

【総括評価】

今回の外部評価は、第2次総合計画前期基本計画第2次実施計画の2年目である令和2年度の主要事業を対象に、事業群として一体的に評価を行うとともに、事業の成果や今後の対応方針に関する評価と併せて、その目的や手法の適切性まで確認することで、事業の上位施策への寄与度や目的に対する成果などを、効果的に評価できたものと考えられます。

個々の事業評価については、これまでの行政評価で培われてきた成果もあり、概ね適切に評価されており、かつ、事業の成果についても確認することができましたが、一部の事業においては、それぞれの事業をめぐる具体的な事実や指標の分析に基づいた評価コメントとなっていなかったり、事業の対象全体がどれだけあってそのうちどれだけ進捗したのかが明示されていないなど、市民の

側から見て、どのような成果を達成したのかが読み取りにくいものが見受けられました。

そのため、いくつかの事業については評価の見直し意見を出しましたが、それ以外の事業においても、今後の評価に当たっては、事業の上位施策に対する意識を強め、事業の活動成果や対応方針について、より分かりやすく具体的に記載を行い、効果的に今後の事業展開に役立てられるよう努めてください。

【今後の行政評価システムについて】

現在の行政評価システムは、適切に運用され、効果をあげているものと認められますが、より簡素で効果的なシステムへの改善の余地はあるものと思われ、また、来年度は、第2次総合計画後期基本計画の初年度となりますので、この機会に、現在の評価システムを検証し、更に良いものにすることが望まれます。このことから、これまでの行政評価システムにおいて蓄積されたノウハウを生かすとともに、評価に係る事務量と効果のバランス等も踏まえ、現在取り組んでいる第2次総合計画後期基本計画の推進に向けた行政評価システムの検討を行い、新たな仕組みを構築していかれますよう要望します。

なお、当委員会において、「PDCAサイクルをより効率的に回すため、評価結果を効果的に事業の改善に繋げることができる仕組みとする必要がある。」、「事務事業評価に必要となる各事業の背景・仕組みがわかるものとする。」、「各事業の対象者の視点を意識して成果等を整理する。」、また、「実施計画に位置付けた主要事業のうち、外部評価に相応しい事業のみをその対象とする。」といった意見が出されたことから、こうした観点についても検討して、より簡素で効果的なシステムへの改善を図られたい。

【個別事業評価】

今回、対象となった事業群に対する総括意見及び個別事業評価結果については、対象事業群別シートのとおりです。

【決算概要】

令和2年度一般会計決算については、第2次総合計画前期基本計画の4年目の年として、第2次実施計画の着実な推進と新たに策定した第3次行財政改革大綱による財政健全性の確保の両立に努められた一方で、新型コロナウイルス感染症対策に関しても、国・県及び市の独自事業からなる緊急政策パッケージの推進など、適切に対応されたところであります。

そのような状況において、歳出では、経常経費の削減に取り組むとともに、歳入では、臨時財政対策債の増額や減収傾向にある市税において個人市民税が増収となるなど、一般財源が確保されたことにより、経常収支比率や公債費負担比率などの財政指標は、前年度に比べて好転傾向であることから、健全な行財政運営に努められています。

しかしながら、財政調整基金残高については、取り崩しによる財源補てんの結果、前年度比約4億2千万円減の約23億8千万円となり、基金残高の減少が続いている状況にあります。更に、次年度も歳出において、亀山駅周辺整備事業や図書館整備事業などの投資的経費や扶助費の増加、歳入において、市税等の減収が見込まれるとともに、依然として新型コロナウイルス感染症の影響も大いに危惧される状況にあることから、一層慎重な行財政運営に取り組み、財政調整基金残高の維持を図る必要があります。

なお、現在、策定が進められている第2次総合計画後期基本計画の事業推進や、今後予定される新庁舎整備やリニア中央新幹線誘致に備えたまちづくりなど、多額の投資に耐えられるような財政的な体力を確保する必要もあるところ

です。

これらのことから、第2次総合計画の事業推進においては、引き続き財源の確保と実施可能な事業進捗を図るとともに、行政評価システムの適切な運用と効果的・効率的な行財政運営に努めていただきたい。

以上、当委員会として、評価結果をまとめましたが、これらを第2次総合計画の推進に活かし、より一層市民の期待に応えられる行財政運営に努められるよう要望します。

令和3年8月2日

亀山市長 櫻井 義之 様

亀山市行政評価外部評価委員会

委員長 村林 守

■ 施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	03:上下水道の充実

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17011:水道生活基盤整備事業	上水道課 上水道工務G
2	19003:水道施設耐震化整備事業	上水道課 上水道工務G
3	20001:水道施設台帳整備事業	上水道課 上水道工務G
4	17012:公共下水道施設整備事業	下水道課 下水道工務G
5	17013:下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)	下水道課 下水道工務G
6	17014:農業集落排水施設機能強化事業	下水道課 下水道工務G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

市民から見た水道事業全体、下水道事業全体での位置づけを明確にした上で評価することが望まれる。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・耐震化について、市民にも分かるように記述をされたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	(活動成果) ・台帳の整備にどのような効果があるのか、明確にした上で評価されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
6	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	07:低炭素・循環型社会の構築

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	19006:環境関連計画改定等事業	環境課 環境創造G
2	17027:飛灰再資源化事業	環境課 廃棄物対策G
3	17028:ごみ溶融処理施設大規模整備事業	環境課 廃棄物対策G
4	19007:し尿処理施設大規模整備事業	環境課 廃棄物対策G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

ごみ処理、し尿処理とも、問題を把握しながら適切に取り組まれている。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実
基本施策	04:障がい者の自立と社会参加の促進

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17054:福祉医療費助成事業(心身障がい者)	市民課 医療年金G
2	17052:障害者総合相談支援センター事業	地域福祉課 福祉総務G
3	17053:障がい者(児)タクシー料金助成事業	地域福祉課 障がい者支援G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

事業そのものは重要なものであり、成果も上がっていると思われるが、市民の側から見た事業の主旨が明確になっていない。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	(活動成果・対応方針) ・対象となる市民の方々の現状を把握した上で評価をされ、対応方針を検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	(活動成果) ・対象となる市民の方々の現状を把握した上での評価とされたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	(活動成果) ・移動ニーズをどの程度カバーしているかを十分に把握した上で評価をされたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上
基本施策	04:まちづくり観光の推進

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17064:観光プロモーション推進事業	地域観光課 観光交流G
2	17065:観光協会運営支援事業	地域観光課 観光交流G
3	19012:亀山7座トレイル整備・活用推進事業	地域観光課 観光交流G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

行政としても亀山の魅力を発信するなど、観光に継続的に力を入れられたい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	(活動成果) ・予算の執行だけでなく、企画の業務なども含めて評価されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・観光協会の活動が市民に見えるようにされたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	(活動成果) ・活動及び成果の評価については、市民提案から発生して仕組みが作られ、成果を上げているのでAでよい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長 [施策の方向①②]

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	19013:井田川小学校校舎増築・給食室改修事業	教育総務課 施設・保健給食G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

適切に増改築が行われたと認められる。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長 [施策の方向③]

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17073:英語教育推進事業	学校教育課 教育支援G
2	17076:学校図書館支援事業	学校教育課 教育支援G
3	17077:学力向上推進事業	学校教育課 教育支援G
4	17074:情報教育推進事業(小学校)	学校教育課 教育研究G
5	17075:情報教育推進事業(中学校)	学校教育課 教育研究G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

重要な事業であり成果は認められるが、その評価の方法について検討されたい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	(活動成果) ・活動とその成果が、指標に基づいて適切に分析されていない。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	(活動成果) ・活動とその成果が、指標に基づいて適切に分析されていない。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	(活動成果) ・活動とその成果が、指標に基づいて適切に分析されていない。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。 ・「ICT運用ガイドライン」は重要だと思われるので、改訂に当たっては、十分に検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	適切な評価と認められる。 ・「ICT運用ガイドライン」は重要だと思われるので、改訂に当たっては、十分に検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し